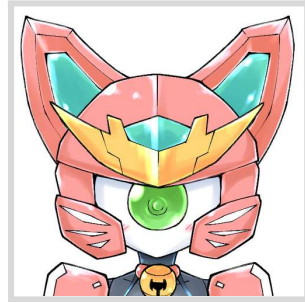


『ロボ肌色』の良さを語ります。 1500字ぐらいで。

2023年 1月 5日

在籍No.014 ガンミィ(一期生)



ドスケベの歴史は肌色の歴史。

肌色。そう、あんまり多すぎるとTwitterくんやYoutubeくんが睨んでくる(詳細不明・諸説あり・個人の感想です)と言われてるあの色です。うすだいたいとか褐色とか。

一方で、それと対をなす...かどうかはわからないけど私が推してる概念がありますのだから。それが『ロボ肌色』！

私はロボ娘Vtuberとして生み出され、その『ロボ娘』属性の布教活動などをやっているのですが、この『ロボ娘』というものの定義が実際のところ非常に...あいまい！！

というかあってないようなものなのです。自然発生的なスラングだし。どういうキャラを思い浮かべるか、本当に人それぞれでしょう。

HUGっと!プリキュアのルールーちゃんのような見た目は人間と変わらない女の子アンドロイドから、女性型メダロットのような完全なロボ型まで内包する幅がとても広いのです。

なので、同じ『ロボ娘』という言葉で表現されることはあれど、その両端で属性としては完全に別物。

その中で私が言う『ロボ娘』は、私の顔写真を見てもらえばわかります通り.....もう見た目から人外度の高い、『ロボです!!!』って感じの女の子だったり、女の子風味なロボを特に強く指しています。

重要視してるのがその『肌の色』で、『明らかに人間ではない・ひと目見て機械とわかる肌』は区別するポイントとしてとても明確な上にこう...めっちゃグッと来る！ ので、一つの大きな基準にしているのですね。

樹脂を思わせる白肌とか黒肌、金属質なメタルカラーなんかポピュラーです。

『人間みたいな肌色だけど見た目から分割線とかバリバリでメカ度高い女の子』をロボ娘と呼ぶ向きも当然あるのですが、これも私の活動上、明確に区別しております。

もちろんあっちはあっちでとても良いものです。ゼノブレイド2のハナJDちゃんとか。

最近の例で言うと、「サイバーパンク：エッジランナーズ」に登場するレベッカちゃん(設定上はロボではなく肉体改造してるサイボーグですが)がマストな存在で、青みがかった白い肌に、体の各所に存在する分割線。がつつりインプラント化されていると思われる眼まで、非常に私の中のスタンダードなロボ娘さん像に近いスタイルとなっておりますのだけわ。

このレベッカちゃんのデザインにおいて、やはり『肌の色』というのは大きなウェイトを占める要素だと思っていて、冷たく無機質な印象を与えるこのスキンカラーは、生身のイメージを色濃く含む通常の肌色(褐色など含む)とは別ベクトルの魅力にあふれています。

普通の肌色にしたら絶対コレジャナイ...ってなるのは、恐らく共感して貰える部分でしょう。

他に有名なケースだと、「Fate/Grand Order」に登場するメカエリちゃんさんなんかもそうですね。やはりただの肌色にすると、その良さ...アイデンティティを大きく喪失してしまうであろうことはご理解いただけるかと思います。

生身の人間とは明らかに違う作り物チックな肌色が、その人外度を雄弁に物語ってくれる...

元々そういう存在として生み出されたのか、それとも後天的な人体改造などがあったのか、文脈は様々ですが、総じて『マイルドな異形要素』と言い換える事もできるかもしれません。

古くは「超獣戦隊ライブマン」のコロちゃん然り、女の子が元々持つ可愛さやえっちなさ、機械的な冷たい異形感の化学反応に心奪われる層は、今も昔も存在しています。

『ロボ肌色』な女の子にご興味のある方はぜひとも、当リストの「イベントメモリー」のページから三多くろさんやノマドさんに描いていただいた私のドスケベファンアートをご覧くださいただければと思いますのかわ。(アピール)

肌色成分ゼロな女の子も...よいものですよ！！